

参加報告書

- 参加プログラム:英語現地実習・SMEAG 校
- 学部・学科: 国際教養学部 国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻
- 留学時の学年:2年

参加の目的

私は今回フィリピン・セブ島にある SMEAG 校の TOEIC コースに参加しました。理由は、今後の就職活動において英語力を強みにしたいと考えており、そのためには TOEIC で高得点を取得する必要があると思ったからです。最終的な目標は 800 点超えでした。

現地での活動

留学中に心掛けたことは、「日本にいないからこそできることをする」ということです。フィリピンの SMEAG 校には世界中から英語を学びたいさまざまな年代の人が集まっており、小さな子供から高齢の方まで幅広く在籍しています。

集団授業では、生徒や現地の先生を通して、自分の国とはまったく異なる文化や価値観を肌で感じることができました。特に私が大切にしていたのは、イブニングスパルタの後や休日にセルフスタディールームを利用することです。その理由は、一人で黙々と勉強するだけでなく、同じ目標を掲げる仲間たちと切磋琢磨できる環境が私にとって非常に刺激的だったからです。

フィリピン人講師とのマンツーマン授業では、できるだけ多く会話することを心掛けました。一番大切なのは「恥を捨てること」です。自分の英語のスピーキング力に自信がなく、文法も正しくないと実感しながらも、とにかく「伝える」ことを第一に会話しました。知っている単語を駆使して思いを伝えられたときには、とても嬉しい気持ちになったことをよく覚えています。英語力の伸ばし方について先生と真剣に話し合ったり、人生観について語り合うこともできました。一対一だからこそできる深い話題も多く、異なる価値観を持つ人からの意見を聞くことは非常に興味深い経験でした。

学び・気づき

このプログラムを通じて特に印象に残っているのは、グループ授業で出会った日本人のクラスメイトたちです。私は日系エアラインのグランドスタッフを目指して SMEAG に参加しましたが、同じ授業にいた男性は日系エアラインのパイロット志望で、さらに 1 週間後に合流した大学 3 年生の女性は客室乗務員を目指していました。同じ航空会社を志望する者同士が偶然会えたことに大きな縁を感じ、最終日にはいつか同じエアラインで一緒に働けたらいいねと語り合ったことが今でも忘れられません。

学習面では、週に 1 度の模擬テストで自分の成長を数値で確認できました。最初は一週間でスコアを上げるのは難しいと思っていましたが、毎日のハードな勉強スケジュールのおかげで、模擬テ

ストのスコアは毎回着実に上がり、セクションごとの点数も安定していきました。これは日々努力を続けた証拠だと感じています。友人とも「この夏休みは大学受験と同じか、それ以上に勉強した充実した期間だったね」と話したほどです。

今後的第一の目標は、日本の公式 TOEIC テストで 800 点を超えることです。そして、フィリピンで築いた「毎日英語に触れる習慣」を日本に戻ってからも継続することを大切にしたいと思っています。YouTube や英語のニュースなどを活用し、英語環境をできるだけ身近に保ちたいです。今回の外国語現地実習は、英語力を向上させるだけでなく、仲間や先生との出会いを通じて人間的にも成長できるかけがえのない経験となりました。努力の大切さ、異文化理解の面白さ、人との縁の尊さを同時に学んだこの経験は、これから的人生において大きな支えになると思います。

